

## 少子化に対応した活力ある学校教育への支援策

(注)金額は平成29年度予算案の額。●は予算面での支援を、○は予算を伴わない支援を示す。なお、各事業の予算額については全国分を一括計上している。

### 知見や事例の普及

- 「公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」の策定・周知

- 統合プロセスや統合後の教育活動について指導・助言 (アドバイザーの活用など)
- モデル事例の創出・分析・周知

- ◆少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業 37百万円

### 統合校の教育環境の整備支援

- 施設整備補助 ※( )内は補助率(原則)  
学校統合に伴う新增築(1/2)や既存施設の改修(1/2)等への補助  
◆公立学校施設整備費 69,013百万円
- 統合校における特色ある教育活動への支援  
◆少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業【再掲】 37百万円

**統合**

### 休校している学校の再開支援

- 施設の大規模改造・長寿命化改良への補助  
◆公立学校施設整備費【再掲】 69,013百万円
- スクールバス・ボート購入費補助  
◆へき地児童生徒援助費補助金 2,186百万円
- 再開支援の取組をモデル指定し支援  
◆少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業【再掲】 37百万円
- 学校再開に関する文部科学省の相談窓口のワンストップ化

閉校

### 小規模校の教育活動の高度化支援

- 小規模のデメリットを克服し、メリットを最大化する教育手法の開発  
◆人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業 68百万円
- ◆少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業【再掲】 37百万円

**存続**

(へき地など)

閉校  
(休校)

**再開**

### その他の支援

#### 地域コミュニティの維持・強化

- コミュニティ・スクールや学校支援地域本部などを通じた学校を核とした地域力強化の推進
- 廃校の有効活用への支援
- 文化・スポーツなど地域振興のための事業の紹介

#### 通学の支援

- 遠距離通学費補助
- スクールバス・ボート購入費補助  
◆へき地児童生徒援助費補助金【再掲】 2,186百万円